

令和3年
7月12日

SNS 講習会

《特別委員会》

報告

SNS 講習会 報告

7月1日(木)穂積中学校 第一会議室で SNS 講習会 を開催しました。

『子どもの実態は？そんなつもりじゃあと思う日が来ないために～子どもたちの実態をもとに見つめてみましょう～』

と題して、情報モラル教育研究所 代表 上水流信秀先生にご講演いただきました。

生徒を対象に行ったアンケート結果から、子どもたちなりに気を付けようという気持ちは持っていて、その中で何をどこまでという指標が無く「このくらいいいやろ…」という状態もあるそうです。

一方で何をどうしていいのかわからず、子どもにどうすればいいのかわ迷っている保護者もみえます。

そういう『現状を認め、理解しながら子どもに接することの大切さ』についてお話していただきました。

時間制限で問題解決ではなく、より良い使い方を一緒に考えましょう。

SNS は誰でも特定され得ることから「未来で必ず過去の自分と出会うことを自覚して」「禁止するだけでは駄目。ルール作り、常に話し合える環境にすることが大切」と強調されました。

LINE グループで実際に起こったネットいじめの事例は親として心が痛くなりました。

ぜひご家庭でネットの使い方について、親子で話し合う機会を持っていただきたいです。



情報モラル教育研究所 代表 上水流信秀 (かみずるのぶひで) 先生

大人の接し方 10 のステップにご協力を！ 子どもの心を導く STEP のおさらい

- ① まず、彼らの現状を肯定し共感してあげます。
- ② -1 そこに潜む3つのキケンを示していく。
- ②-2 事実・事例で示していく。
- ③ 自分自身の損失に気づかせていく。
- ④ 今できる対策に気づかせていく。
- ⑤ ダメなものは！ダメという。
- ⑥ それでも！続けますか？と突き付ける。
- ⑦ アンケートから事実を突き付ける。
- ⑧ 自分と仲間を守るに焦点をあわせる。
- ⑨ 最終的に「それかよお～」と思わせない。
- ⑩ 「それならでき！」と思わせる。

- ★認め・気づかせ・動きはじめさせる。
- ★規制から自制への変革を促す。

《キケン》を3分類で捉えましょう》

◆【ばらまくキケン】 = 写真・個人情報・登録ID

だいじょうぶ？・・・あなたは？ばらまいていない？

◆【つながるキケン】 = SNS つながり・チャット・ゲームサイト

だいじょうぶ？・・・知らないうちに「誰か」とつながっていない？

◆【つながらなくなるキケン】 = 依存・引きこもり

だいじょうぶ？・・・ネットの中だけ、になっ
ていない？

参加者アンケートより

・利用時間について制限をもうけることを押し付けるのではなく、利用時間を減らすようにもっていく事が大切だと分かりました。

・デジタル = つながるとのこと。つながっている事の怖さ。軽い気持ちで発信した言葉などで、人生が変わってしまう可能性があるという事実。

・便利なものをうまく使うことで、情報を与えたくない相手から自分を守ることができるということ、子どもに伝えたいと思います。

・3つのキケンを教えたい。

・約束を守れなかったら取り上げるのではなく、ルールを守るように話し合っていくと思います。

・日頃から話し合ったりネット時間も制限をかけているけど、どのように使っているのかは分かっていない。

・講習で聞いたことを家族でもう一度話し合っ
て、子どもと一緒に使い方を考えたいです。

・子どもの今の状況や思いを言い出しやすいように、親の思いや気持ちを押し付けないようにしないと決めたいと思いました。

・我慢をしよう子がいないように、子どもや親が入りやすい窓口がつかれるといいと思いました。

・親もネットに詳しくないので子どもがどうい
う危険に巻き込まれるのか分かりません。
このような機会があれば是非、参加したい。
い。

・自分を守るとい事は家族や友達を守る
ことにつながる。

